

३३

～の～の方があります。

引をかけた

⑦ 総画大へ引を使った…総画引き

⑦ 音訓大へ引を使った…(音訓引き)

(1) 3. (1) ~ (4) は、右の①②③④のとれにおいてはありますが。□に記号を書きましよう。

(11) 漢字の読み方はわからないが、部首がわかるときに使っている引き方

④ 漢字の音が訓の読み方がわかっているときに使う引き方

(3) 漢字の部首も読み方もわからないときに使う引き方

④ 漢字の読み方が五十音順にならんだとく引を使う

⑤ 漢字が総画数の少ない順にならんだサ行を使つ

⑥ 漢字が部首、二つに画数の少ない順にならんだサへ引を使つ

(2)

音訓よく引て漢字を調べます。次の漢字の読み方を、音読みはカタカナで、訓読みはひらがなで（一）に書きましょう。また、①③の各組で、音訓よく引て先にのっている方の□に○をつけましょう。

。J、H、F、H、I、J、K、O、P、Q、R

①

医…音読み	委…音読み
()	()
()	()

②

火…音読み	皮…音読み
訓読み	訓読み
()	()
()	()

③

遠…音読み	泳…音読み
訓読み	訓読み
()	()
()	()

(3) 総面を引、漢字を調べます。

☆ 画数は、ひとつづきで書く部分を一画と数えます。

・「おれ」は「曲がり」は一画と数えます。↓(れい) ㄣ (三画) 乇 (四画) 女 (三画)

・ひとづきのようでも、二画と数えるものがあります。↑(れい) え(し人によろ)は三画

次の漢字の総画数を、漢数字で書きましょう。

①水 () () 画 ②七 () () 画 ③子 () () 画 ④出 () () 画

⑤糸 () 画 ⑥見 () 画 ⑦母 () 画 ⑧自 () 画

⑨弓 () 画 ⑩地 () 画 ⑪通 () 画 ⑫家 () 画



漢字の音と訓①

名前

☆ 漢字の読み方には、音読みと訓読みがあります。

- ・ 音読み…漢字が日本に伝わったときの、中国での読み方をとにしたもの
- ・ 訓読み…漢字の意味にあてはまる日本語をあてはめたもの

(1) 線の漢字の読み方を、音読みはひらがなで、訓読みはひらがなで、() に書きましよう。

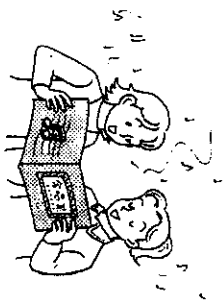
① 抱だんにチュリープの刺がはいている。

② みんなで校歌を歌います。

③ この写真に写っているのはだれですか。

④ 自転車に乗っていて転んだ。

⑤ あの店は十時に開店します。



(2) 次の漢字の読み方を、音読みはひらがなで、訓読みはひらがなで、() に書きましよう。

①	練習	()	②	品物	()
	練る	()		食品	()
③	炭火	()	④	旅行	()
	石炭	()		旅人	()
⑤	注意	()	⑥	氷山	()
	注ぐ	()		氷水	()

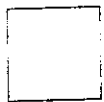
(3) 次の漢字には同じ音読みがあります。その音読みをカタカナで、() に書きましよう。

- ① () …動・同・童 ② () …原・言・元
- ③ () …葉・洋・様 ④ () …子・函・紙

(1) 次の慣用句の() には、生き物の名前が入ります。当てはまる言葉を入れて、慣用句を完成させましょう。まだ、その意味を下から選んで——線で結びましょう。

- ① () に小ばん  .
- ② いくらの ()  .
- ③ () のなみた .
- ④ () につままれる .
- ⑤ 泣きっぱんに ()  .
- ⑥ () に豆鉄ぼう  .
- ⑦ 意外な結果に、わけがわからなくなること .
- ⑧ ほんの少ししかないこと .
- ⑨ ねうちがわからなこと .
- ⑩ 追いつめられて、にげ場がないこと .
- ⑪ とつぜんのことにおとろいて、あっけにとられること .
- ⑫ 不運や不幸が重なること .

(2) 次の各組の慣用句は、□に同じ漢字が入ります。当てはまる漢字を書きましょう。(4×4)

- ①  . □ が立たない。
 . □ がうく。
 . □ に衣着せぬ。
- ②  . □ が広い。
 . □ にとろをぬる。
 . □ がきく。
- ③  . □ もはじらう。
 . □ に □ がさく。
 . 高ねの □
- ④  . □ の息
 . □ が知らせる。
 . □ が好かない。

(3) 次の慣用句の意味を□から選んで、記号を□に書きましょう。

(4×6)

- ① さじを投げる。
 ② 腹をわる。
 ③ ひたいを集める。
 ④ のどから手が出る。
 ⑤ かたて風を切る。
 ⑥ うてに覚えがある。
- 
- ⑦ かくしごとをしないで、本心をうた明ける。
 ⑧ ほしくてたまらない。
 ⑨ 自分の力に自信がある。
 ⑩ 集まって相談する。
 ⑪ これ以上努力しても、見こみがない。
 ⑫ とくい氣に歩く。

(1) 次のことわざとよく似た意味のことわざを—線で結びましょう。

- | | | |
|--------------|---|----------------|
| ① 河童の川流れ | • | ④ ちりも積もれば山となる |
| ② 急がば回れ | • | ⑤ せいては事をしそんじる |
| ③ 雨だれ石をうがう | • | ⑥ せるも木から落ちる |
| ④ うそから出たまこと | • | ⑦ 恩をあだで返す |
| ⑤ かい犬に手をかまれる | • | ⑧ 紺屋の白ばかま |
| ⑥ 医者の不養生 | • | ⑨ ひょうたんからこまが出る |

(2) 次の意味を表すことわざを□から選び、() に記号を書きましょう。



① () 少しときのせいかくは、年をとっても変わらないといふこと。

- ② () 思いがけない幸運がまいにんでくること。
- ③ () まだ手に入っていないのに、それをあてにして計画を立てること。
- ④ () 用意をしてこそ、相手が応じず動かないこと。
- ⑤ () 気が合う者や、考え方のにている者は、しぜんと集まる。
- ⑥ () どれも同じようで、とくにすぐれたものがない。
- ⑦ () カの強い相手には、反(へん)つせず、言(こと)となりにする方がよい。
- ⑧ () 大切なものをふいに横取りされて、あつけないとられること。

- ⑦ 笛ふけどもおどらず
- ⑧ 三つ子のたましい百まで
- ⑨ たながらぼたもち
- ⑩ とらぬたぬきの皮算用
- ⑪ 長いものにはまかれる
- ⑫ 類は友をよぶ
- ⑬ とんびに油あげをやらわれる
- ⑭ とんぐりのせいふぐ

名前

(1) 次の () に合うつなぎ言葉を から選んで書きましょう。

① 今日は日曜日です。()

() 学校は休みです。

② 今日は月曜日です。()

() 学校は休みです。

③ アリンを食べようか。()

() アイスクリームにしようかな。

④ 十二月になった。()

() 今年もあと一か月で終るといことだ。

⑤ 雨がふってきた。()

() かみなりも鳴りはじめた。

⑥ 今日は楽しかったね。()

() 明日はどこで遊ぼうか。

(2) 次のつなぎ言葉の働きを から選んで記号を に書き入れ、同じ意味のつなぎ言葉を一線結びましょう。

① しかも ☐

④ つまり、それは、要するに

② ところが ☐

⑤ それとも、あるいは

③ または ☐

⑥ だから、そのため

④ なぜなら ☐

⑦ そのうえ、それに、なお

⑤ それで ☐

⑧ しかし、でも、けれども、だ

- ⑦ 先の文が、後の文の理由になる。先の文から予想されること、後の文に来る。(順接)
- ① 先の文と反対になること、後の文に来る。(逆接)
- ② 先の文に後の文をつけたしている。
- ⑤ 後の文で、先の文を説明している。
- ⑧ 先の文と後の文のどちらかを選んだり、くらべたりする。

(3) つなぎ言葉に注意して、次の文のつなぎを考えて書きましょう。

・おながすいた。

① だから、()

② けれど、()

③ それに、()

()

()

()



それとも
つまり
さて
そのうえ
けれども
だから